AMT 操作マニュアル ver1.3.5

目 次

AMT 操作マニュアル ver1.3.5 1
はじめに 2
AMT のダウンロードについて 3
アカウントの新規登録 4
時刻の同期 5
動作保証環境 5
操作画面について 6
各メニューの説明 6
取引タブについて 7
HighLowMarkets タブについて 9
アラート設定 9
アラートの取得について 10
履歴データで複数のインジケーターの勝率を出す方法 12
詳細設定について 13
マーチンについて 16
トラブル解決・FAQ 20
システムのアップデートについて 22
お知らせとお問い合わせについて 22

はじめに

このマニュアルの画像は、Windows10 での画面になります。
お使いの Windows 及び AMT のバージョンによって、画面及び操作方法が異なりますのでご注意下さい。

ウイルスソフト等により、ダウンロードが出来ない場合もございます。
その際は、一度お使いのウイルスソフト機能を停止して、再度ダウンロードを試してください。

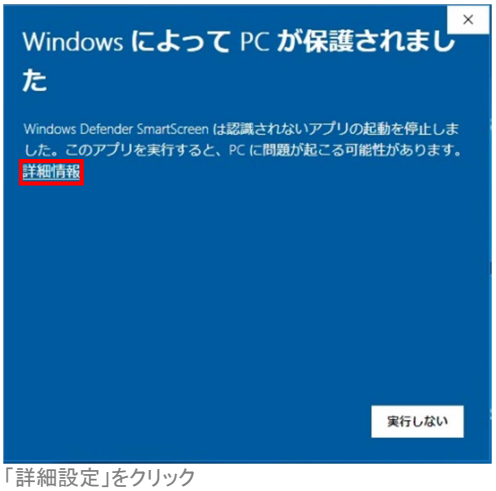
AMT のダウンロードについて

ここでは AMT のダウンロードする方法について解説します。

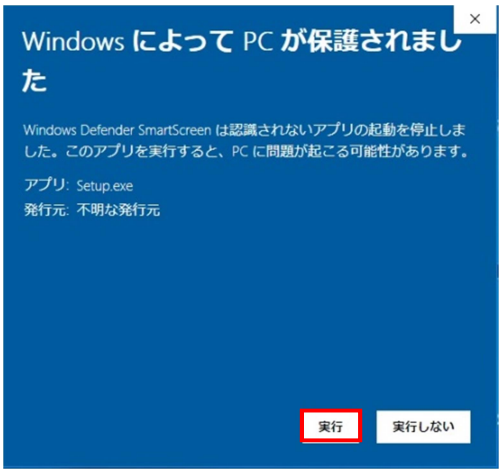
amt4.jp にアクセスしファイルをダウンロードする

以下のアドレスよりダウンロードボタンをクリックします。
https://amt4.jp/

ダウンロード後に Setup.exe をダブルクリックして解凍します。
デスクトップに AutoMultiTrader というショートカット名が表示されたらダブルクリックで起動させてください。
お使いのパソコンの環境によっては、下記画像の様に表示されますが、「詳細情報」をクリックして「実行」を選択して下さい。



「詳細設定」をクリック



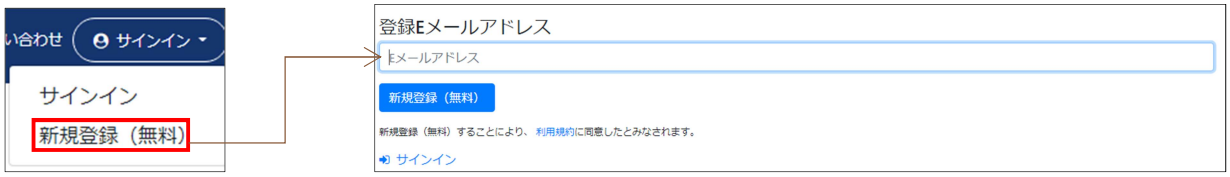
「実行」をクリック

※上記図は Windows10 になります。表示は OS によって異なります。

アカウントの新規登録

AMT を起動してサインインをします。
初回は下記 URL よりアカウントの登録を行ってください。
https://amt4.jp/sign/up/

またはサイトの右上にあるサインインをクリックして、アカウントの新規登録を行います。



アカウント登録は無料で行えます。　　E メールアドレスを入力して頂き、登録した E メールアドレスを確認して下さい。

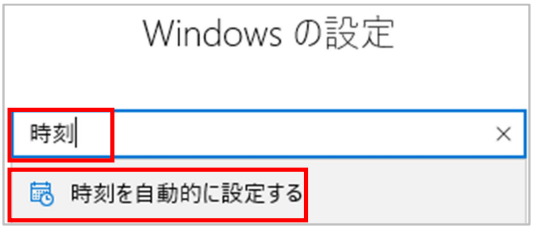
アカウントでサインイン

アカウントの作成を行っていない場合は、新規登録をクリックしてください。
ログイン出来ない場合は、windows の時刻と AMT の時刻にタイムラグがある可能性がございます。
AMT は **UTC**（協定世界時）と同期しておりますので、Windows の「日付と時刻の調整」から、「時刻を自動的に設定する」をオンにしてタイムラグを修正してください。

時刻の同期

AMT では機会損失を防ぐために正確な時刻を確認しております。
下記の手順で OS の時刻を自動的に設定するようにしてください。

「スタート」から「設定」をクリックして「設定の検索」で「時刻」と入力すると「時刻を自動的に設定する」と表示されます。



「時刻を自動的に設定する」を「オン」にすると設定が完了します。

※時刻の同期は AMT の機能からでも行えます。詳しくは本マニュアルの時刻の同期のページを確認して下さい。

動作保証環境

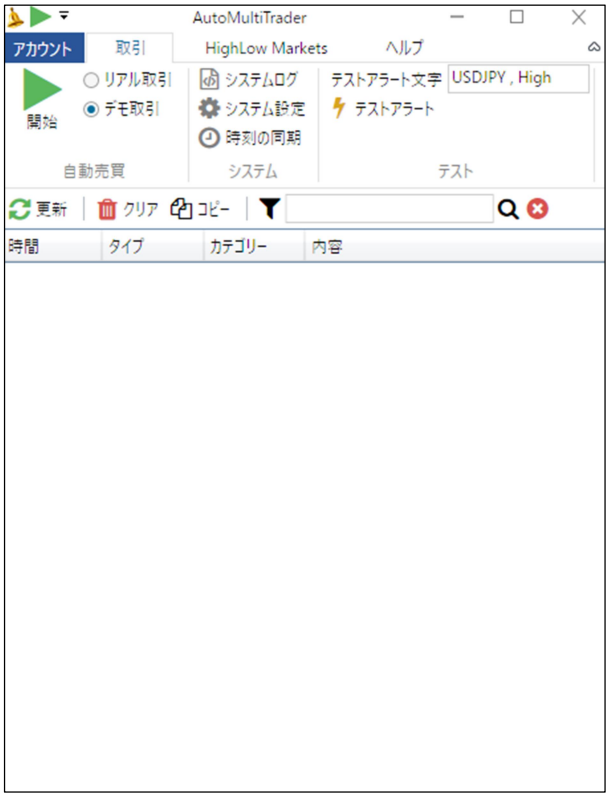
・Windows OS
・1GB 以上のメインメモリ
・ブロードバンド以上のインターネット回線(常時接続必須)
・.Net Framework 4.7.2 以上
・Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージ(x86)

※サポート対象の OS は「Windows10 / Windows Server 2012 R2」となります。

操作画面について

ここでは操作に関する説明を行います。
※本ソフト AMT では各設定項目にマウスオーバーすることで項目に応じた説明が AMT で表示されます。

各メニューの説明



アカウント
マイページをクリックすることで、パスワードやメールアドレス等の変更やアクセス履歴などを確認できます。

取引
取引の開始やシステムの設定などを行えます。

HighLow Markets
取引時に必要な各種設定や取引履歴などを確認出来ます。

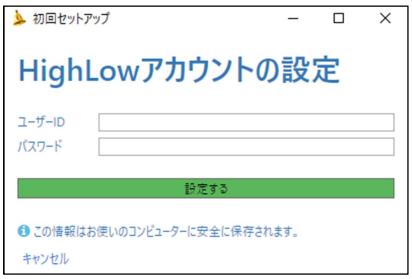
ヘルプ
AMT のバージョン確認や本マニュアルを確認出来ます。

取引タブについて

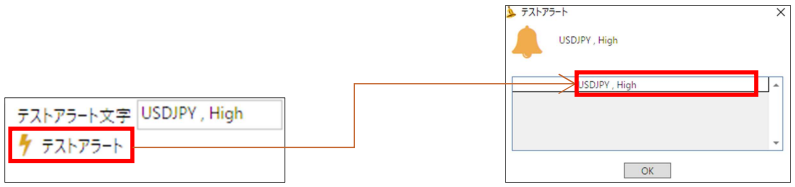
リアル取引

リアル取引は実際の市場口座を用いてお取引しますので、
初めて本ソフトを使用される方は必ずデモ取引で動作確認を行って下さい。
初めてご利用になる場合は、アラート設定を行わないと稼働しません。

※初回は HighLow Markets アカウントの設定が必要です。



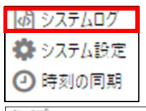
テストアラート



テストアラート文字の欄にインジケータのシグナル文字をご入力して頂き、テストアラートをクリックすることで MT4/MT5 からのアラートを正確に拾っているかテストを行えます。
※全角・半角スペース等は必要ありません。アラートの拾い方などの細かい設定方法はアラート設定に記述しております。

システムログ

取引のログやその他システムのログが表示されます。



タイプ	カテゴリー	内容
通知	MT4	アラート監視終了
通知	MT4	アラート監視開始

実際に取引を行った際は、システムログで正常に取引が行われているか判断出来ます。
トラブル等が生じた場合もシステムログを確認してください。

整列

時間	タイプ
03/07 14:53:27	通知
03/07 14:53:25	通知
03/07 14:53:17	最低

時刻順に整理します。

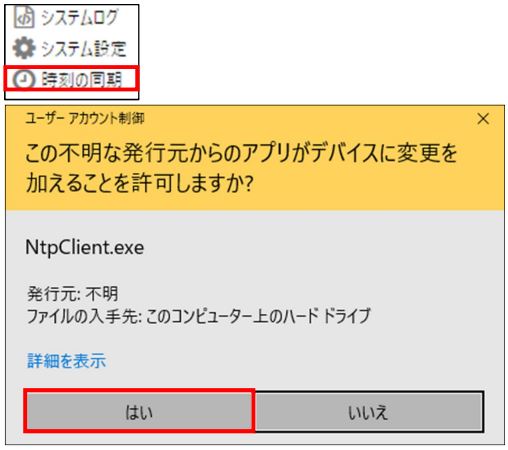
システム設定

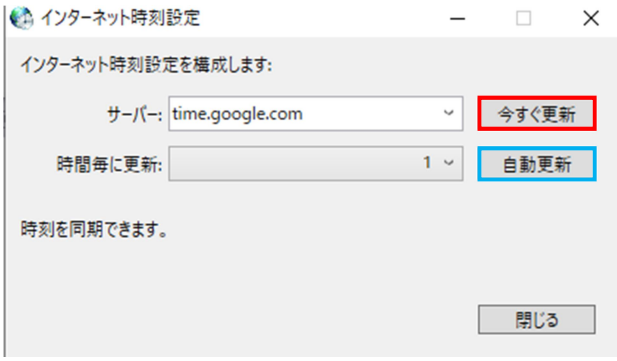
ホーム画面の設定やシステムログの設定を行えます。

「ホーム画面」は AMT 起動時のホーム画面を変更することが出来ます。ドロップダウンリストからお好みの項目を選択して下さい。
「最大ログ出力数」は出力されるログの数を設定出来ます。
「出力ログレベル」はログの重要度を変更出来ます。
※設定変更後は設定の保存をクリックして下さい。

時刻の同期

PC の時刻を正確な時刻と同期させ時刻の補正を行います。
時刻の同期をクリックすると下記画像の様に許可を求められる場合がございますが、「はい」を選択して下さい。





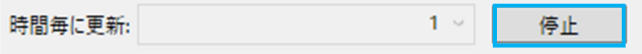
サーバー

「今すぐ更新」をクリックして時刻の同期を行います。

時間毎に更新

ドロップダウンリストから選択した時間毎に自動更新を行います。

下記の画像が「時間毎に更新」を 1 時間で更新するように設定した状態になります。



青枠が「自動更新」と表示されていたら OFF 状態
「停止」が表示なら ON 状態になります。

HighLowMarkets タブについて

MT4/MT5 は初心者から玄人まで扱える様、解り易い画面で非常に細かく設定が出来る構造になっております。
取引の要にもなりますので、色々と設定をカスタマイズしてデモ取引で試して下さい。

アラート設定

ここでの説明では、お使いの MT4/MT5 からのアラート通知を自動で拾い出して自動売買が行える様に設定が出来ます。

アラート設定画面の開き方

アラート設定をクリック

編集をクリック

■基本設定

・取引オプション
HighLowMarket で扱われる取引オプションを設定出来ます。
ご利用になるインジケータに適した項目を選択して下さい。

・履歴区分
履歴設定の区分を個別に設定出来ます。

・金額設定
マーチンの使用などを選択できます。
※マーチンは取引所の仕様上、正確な勝敗を測定することは出来ませんので、ご注意ください。

・金額
1 回あたりの購入する金額を設定出来ます。

■アラート設定

・検索タイプ
アラート文字の文字をどのように検知するかを選べます。
文字が「完全一致」のみや「大文字小文字を区別しない」など変更することが出来ます。

・通貨サイン
アラート文字から検知する通貨ペアのサインになります。

・High サイン
アラート文字から検知する High サインを設定出来ます。

・Low サイン
アラート文字から検知する Low サインを設定出来ます。

■通貨ペア設定

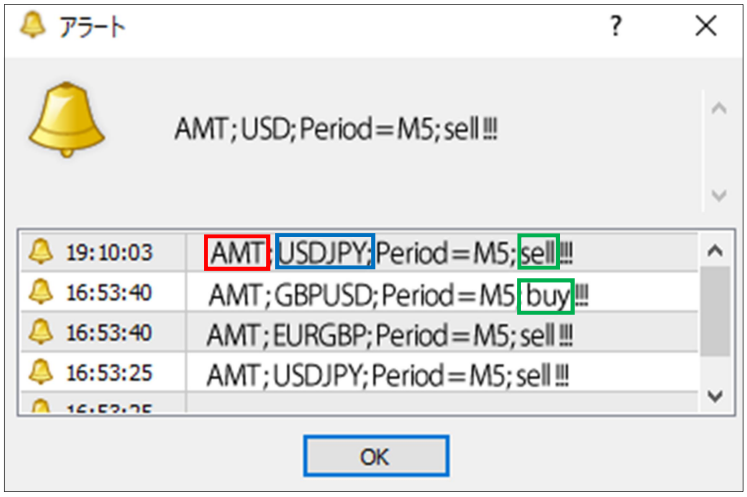
・通貨ペア
USD/JP など通貨を個別に設定出来ます。

・購入方法
通貨ペアで選択した通貨を「すべて購入」するか「一致するものを一つ購入」するかを設定出来ます。

■その他設定

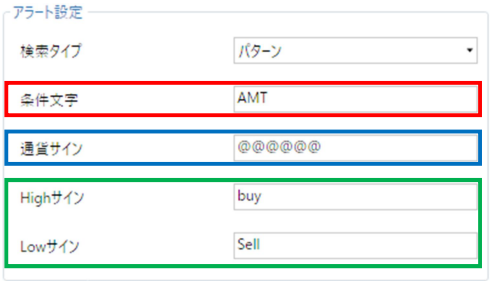
・個別の停止時間
個別で停止させたい時間を設定出来ます。

アラートの取得について



上記画像は MT4/MT5 からのシグナルになります。

（例）画像は AMT というインジケーターを使用した場合のシグナルとします。



条件文字でインジケーターの AMT の 3 文字を入力

通貨サインで通貨の 6 文字を@@@@@@で入力
※6 文字続いている文字を取得するため、仮に「AMT」が「SIGNAL」と 6 文字だった場合は「SIGNAL」を取得してしまいます。
青枠内で「SIGNAL; @@@@@@」と入力することで正しく取得することが出来ます。

High Low サインはインジケーターの High または Low サインを入力することで使用出来ます。

よく使われている High/Low サインの例
High/Low
Up/Down
Buy/Sell
Call/Put

正しく設定出来たかを確認する

テストアラートに「AMT ;USDJPY; Period= M5; Sell!!!」と入力してテストアラートをクリックします。
システムログからアラートを受信したか確認をしてみましょう。

ラベル

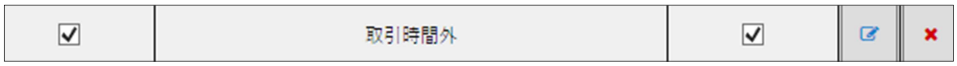
各自で変更した基本設定やアラート設定などを保存する際に名前を付けて保存することが出来ます。
有効にチャックを入れることで設定したアラートを使用することが出来ます。

※設定を有効にする場合は☑を付けてください。

アラート設定画面

停止時間設定

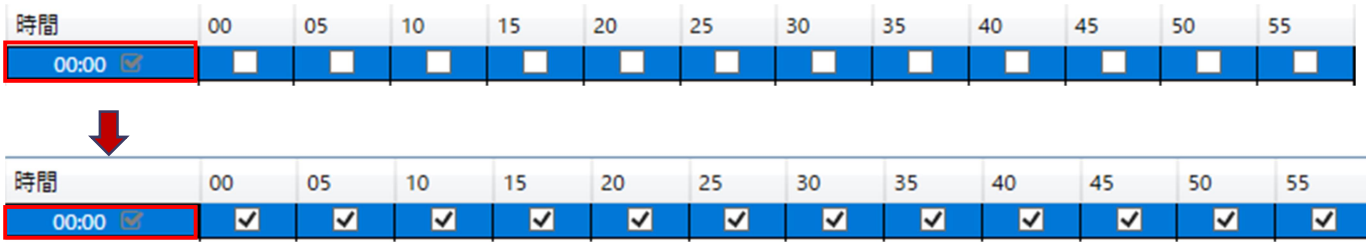
時間設定の編集をクリックすることで取引時間外の変更出来ます。



月・日・曜日をドロップダウンリストから選択した項目に☑を付けてください。
時間は 5 分単位で設定できます。

※設定を有効にする場合は☑を付けてください。

時間停止設定で、「時間」の部分をクリックすることで一列全部にチェックすることが出来ます。



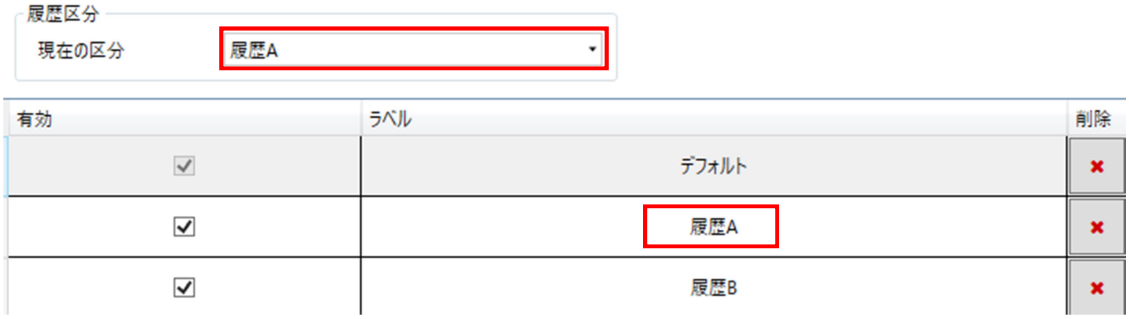
「00:00」をクリックすると上記画像のように、分単位全てにチェックが入ります。

履歴データで複数のインジケーターの勝率を出す方法

複数のインジケーターを同時に利用している場合は、各インジケーターに対して一つずつ設定が必要になります。
まずは「アラート設定」で各インジケーターの設定を行います。

下記画像では「アラート A」と「アラート B」の 2 つのアラート設定を設けます。

次に、履歴設定で各インジケーターに対応する履歴区分を作成します。



その後、「アラート設定」の「履歴区分」に先ほど作成した履歴区分を設定します。

必ず保存

「履歴データ」の検索条件にある「履歴区分」の中に設定した「ラベル名」があれば設定完了です。

履歴データはエントリーが行われた時点での設定がデータに保存されますので、
設定後はアラートをお待ち下さい。

※過去のデータでアラート設定別にデータを集計されたい場合は、
※CSV に出力してデータにある「アラート設定のラベル名」を利用して Excel 等にて独自に集計してください。

詳細設定について

勝ち逃げ金額やストップロス金額等やリトライ回数・通知設定の変更を行えます。

■基本設定

登録済み ID

設定されたハイローアカウントの ID です。
ハイローアカウントの登録は「リアル取引」の初回実行時に設定できます。
設定されると 2 週間の使用期間がスタートします。
※注意
1 つの AMT アカウントにつき 1 つのハイローアカウントが紐づけされます。この紐づけは不正利用の為に解除することができません。

運用資金 ／(デモ取引)

自動売買で運用する金額です。この金額が購入金額を下回ると次の購入は自動的にキャンセルされます。

勝ち逃げ金額

その日の利益が設定した金額以上に達すると次の日まで取引がキャンセルされます。
この設定をキャンセルしたい場合は「0」に設定してください。
(例)「勝ち逃げ金額 3,000 円」と設定とした場合「本日の収支」が「+3,000 円以上」になったら以降の取引がキャンセルされます。

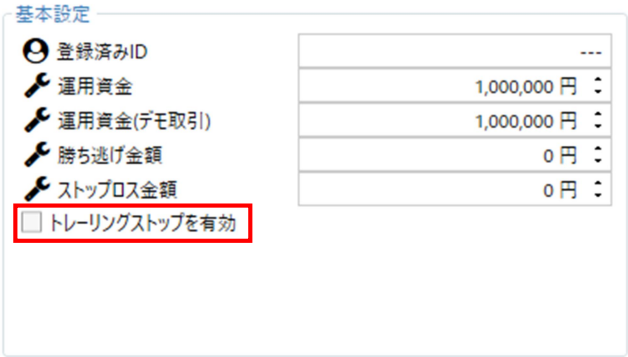
「本日の収支」「本日の最大収支」はメニューの「現在の状態」より確認できます。

本日の収支は、毎朝及びリアル取引/デモ取引の切替時にリセットされて「0」になります。
※注意
本日の収支は取引所の結果が出てそれを AMT が取得するまで更新されません。
結果が反映される前にアラートやマーチンが発生するとその時点での収支でエントリーが実行されます。
必ずしも最新の収支でチェックはされませんのでご注意ください。

ストップロス金額

その日の損益が設定した金額以上に達すると次の日まで取引がキャンセルされます。
この設定をキャンセルしたい場合は”0”に設定してください。

トレーリングストップ機能



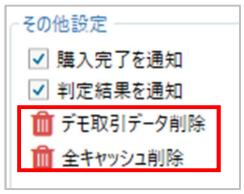
チェックを入れて有効にすると「ストップロス金額」がトレーリングストップになり、
「本日の収支」が、「本日の最大収支」から「ストップロス金額」分下がった場合に取引がキャンセルされるようになります。
(例)トレーリングストップが有効で「ストップロス金額 3,000 円」の場合
「本日の最大収支+9,000 円」で「本日の収支が+6,000 円」に下がったら以降の取引がキャンセルされます。
「本日の収支」「本日の最大収支」はメニューの現在の状態により確認できます。

■その他設定

購入完了を通知/判定結果を通知

☑付けるとシステムログのタイプ欄に通知されます。

全キャッシュ削除



「全キャッシュ削除」は「原因不明のタイムアウト」が頻繁に発生する場合に一度キャッシュデータを削除することで改善する場合がございます。

■購入設定

未約定リトライ回数

約定が拒否された場合の再試行回数

未約定リトライ間隔

約定が拒否された際に再試行を行うまでの待機時間(ミリ秒)

購入タイムアウト

購入をリクエストして取引所から成否の応答を待つ時間(ミリ秒)

同時サイン受付時間

同時に複数のサインが出た場合の受付時間です。
同時サインを購入(有効)にしたい場合は"0"を設定してください。
同時サインを見購入(無効)にしたい場合は、最初のサインから無効扱いにするまでの時間を設定してください。

（例）：3,000 を設定すると、3 秒以内に発生した複数のサインは最初の一つだけ購入されます。
※応用として、180,000 を設定すると、最初のサインから 3 分間はほかのサインを無視（未購入に）することもできます。

連続購入間隔
同時サインによる連続購入の際に、購入と購入の間に待機する時間（ミリ秒）
※短すぎると取引所にて拒否されます。

アラート受付許容時間
アラート発生から受信するまでの許容時間（ミリ秒）

購入許容時間
アラートの発生時刻から購入時刻までの許容時間です。
許容時間を過ぎると、その購入はキャンセルされます。
主に、同時アラート発生時の連続購入による時間の経過によって、
アラート発生から購入までの間が長くなった場合にキャンセルする為に使用します。

■自動リロード

通知を自動で更新します。

マーチンについて

マーチン（次の足） マーチン 1 回とは最初にエントリーした部分カウントしません。
次にエントリーしたところからマーチン 1 回とカウントします。
また次エントリーするときは
マーチン 2 回目、3 回目、4 回目・・・・となります。

エントリーしているローソク足（1 分足・5 分足など）で負けた場合、自動で更にエントリーします。
（例）：22:05:00 にエントリーを行い 22:10:00 に負けが確定した場合、22:10:00 に自動で更にエントリー
「倍率」：負けた際に次に購入する金額の倍率です。

2 倍の場合：1000 円(エントリーは最初設定した金額)→2000 円(1 回目)→4000 円(2 回目)→8000 円(3 回目)
金額が倍に上がっていきます。

「最大回数」：マーチンしたい回数
設定は何回でも可能ですが、取引所によっては上限額がありエントリーが出来ませんので、最初のエントリー金額に倍率と回数は計算して算出してください。

1000 円エントリー、2 倍、回数 10 回は不可能
（例）1000 円(最初に設定した金額)→2000 円(1 回目)→4000 円(2 回目)→8000 円(3 回目)→16000 円(4 回目)
→32000 円(5 回目)→64000 円(6 回目)→128000 円(7 回目)→256000 円(金額オーバー)
このように不可能なこともありますので、最初のエントリー金額と倍率と回数は計算して算出してください。

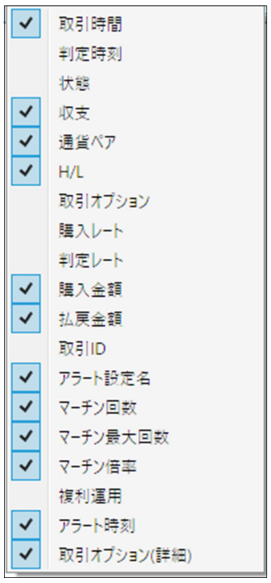
マーチン（次のサイン）は次の足とは違い、サインがなって負けたらそこで終わりで、次サインがなった場合に倍率をかけていきます。
（例）22:05:00 にサインがなりエントリーして負けて終了
22:15:00 にサインがなりここでのエントリーに対してマーチン機能が発動します。
「倍率」「最大回数」の考え方は「次の足」と同じ考えになります。

履歴データ

勝率
勝率を表示します。

収支
利益が出た場合は背景が“緑”になり、損益の場合は“赤”で表示されます。

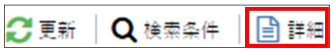
履歴設定
上記画像の赤枠内でマウスの右クリックをすると下記の画像が表示されます。



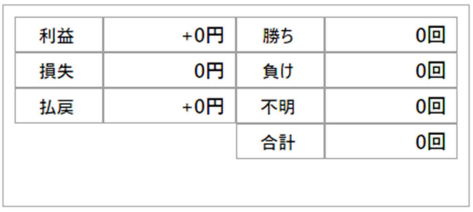
表示の☑を外すとことで、赤枠内の表示が変更されます。

“項目順序を保存“をクリックすることで、設定を保存出来ます。

詳細



詳細をクリックすると下記の画像が表示されます。



利益	+0円	勝ち	0回
損失	0円	負け	0回
払戻	+0円	不明	0回
		合計	0回

取引画面

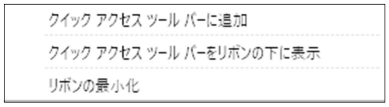
取引画面をクリック

もう一度取引画面をクリック

high Low Markets がシステムに表示されます。

クイックアクセスバーに項目追加

追加したい項目の上にマウスカーソルをあて、右クリックを押すと下記の画像が表示されます。



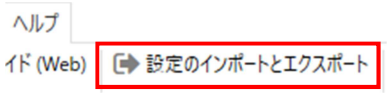
“クイックアクセスバーに追加“をクリックすると下記の黄枠に追加されます。

“クイックアクセスツールバーをリボンの下に表示“をクリックすると黄枠の項目が赤枠に移動します。

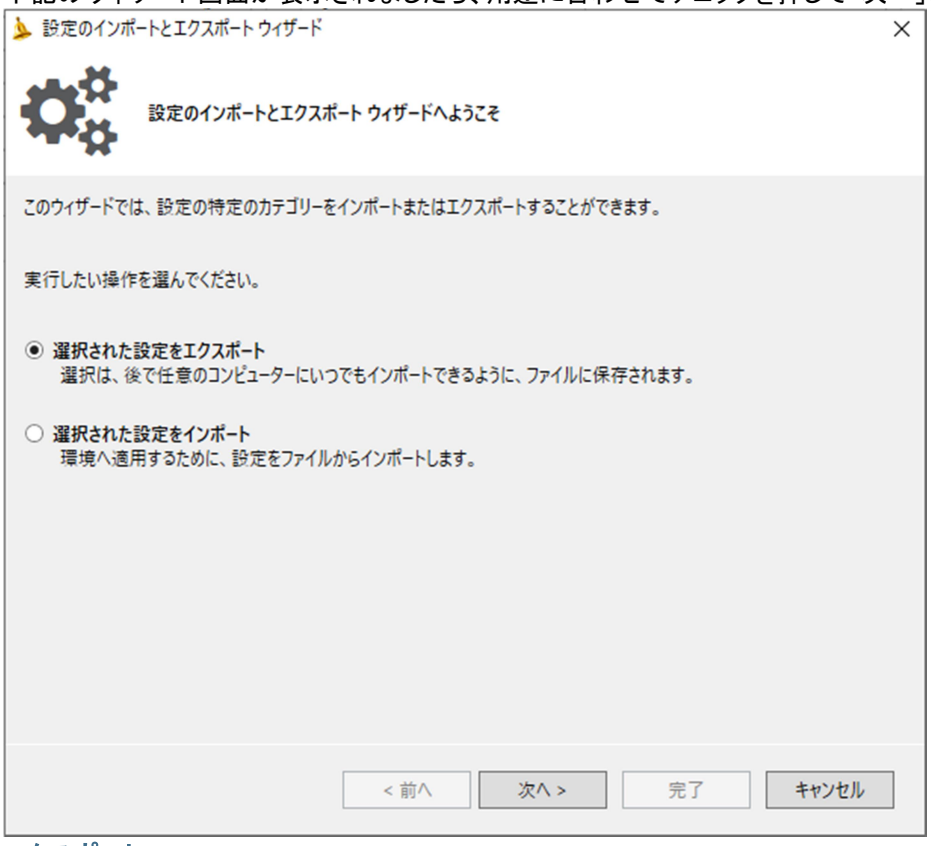
■設定とインポートとエクスポート

各設定をファイル出力して保存します。

「ヘルプタブ」の「設定のインポートとエクスポート」をクリックします。



下記のウィザード画面が表示されましたら、用途に合わせてチェックを押して「次へ」をクリックしてください。



エクスポート

データを出力して保存をします。

インポート

エクスポートで保存した設定等のデータを読み込みます。

トラブル解決・FAQ

アンチウイルスソフトによる誤検知

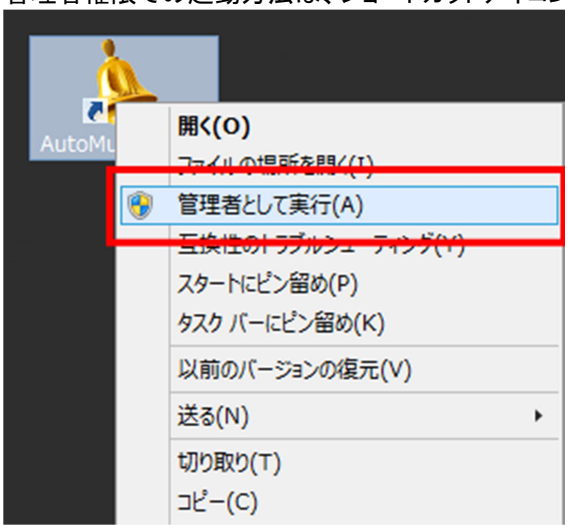
・ウイルスバスター

【特定のファイルをウイルス検索から除外するには】

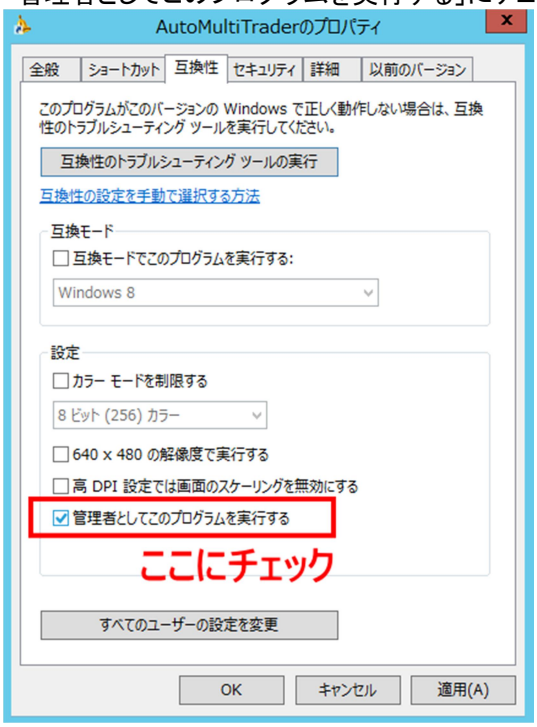
上記記事を参考に、下記フォルダへのパス
″C:¥Users{ユーザー名}¥AppData¥Local¥AMT″
を指定して設定してください。
※AppData は隠しフォルダなのでご注意ください。表示されない場合はパス欄に直接入力されてください。

ログに「アクセスが拒否されました」と表示されて稼働しない

AMT を管理者権限で起動してください。
管理者権限での起動方法は、ショートカットアイコンを右クリックしてメニューより起動できます。



または、右クリックしてメニューより「プロパティ」を開いて
「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを入れると自動で管理者権限で起動するようになります。

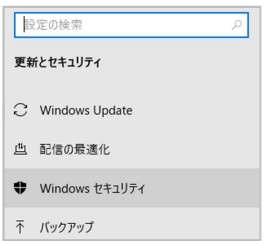


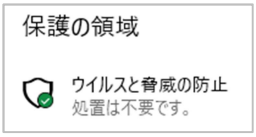
正常にログインができない場合への対処方法

この問題は WindowsDefender によって誤検知されることで発生します。
※AMT にそのような感染はありませんのでご安心ください。

この問題が発生する方は、WindowsDefender の設定で AMT の除外設定をすることで解決できます。
設定方法は以下の通りです。

【Windows セキュリティに除外を追加する方法】
［スタート］＞［設定］＞［更新とセキュリティ］＞［Windows セキュリティ］＞［ウイルスと脅威の防止］の順に移動します。





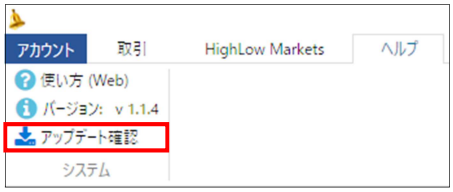
［ウイルスと脅威の防止の設定］で、［設定の管理］を選択し、［除外］で、［除外の追加または削除］を選択します。
以下のパスを追加してください。

「C:¥Users¥{ユーザー名}¥AppData¥Local¥AMT¥」
※AppData は隠しフォルダです。{ユーザー名}の部分はご利用の環境に合わせて変更してください。

設定後、隔離されたファイルを復元するか AMT を再インストールしてください。

システムのアップデートについて

システムのアップデート



システムのバージョンアップを行う場合は、アップデート確認をクリックすると自動的に行います。
バージョンアップ後は、システムの再起動を行います。
※注意
新バージョンとお使いのインジケーターとの相性に問題がある場合もございます。
アップデート後は必ずデモ取引で十分に動作確認されてからリアル取引を開始されてください。
動作に不具合がある場合はお問い合わせいただくか、以下の以前のバージョンをご利用ください。

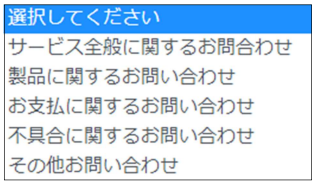
お知らせとお問い合わせについて

お問い合わせの前に
お問い合わせの前に**よくある質問**や**お知らせ**を確認してください。

AMT 操作マニュアルを確認されても不明な点がございましたら、お問い合わせからご連絡を下さい。

お問い合わせフォーム

ご用件の選択



ご用件をクリックするとドロップダウンリストが表示されます。

内容を確認して送信をクリックして下さい。

カスタマーサービスから記入して頂きました E メールアドレス宛に返信いたします。